

国際観光学科 2年 前期 総合科目

1. 自然と環境
2. ユニバーサル論
3. 富山コミュニティー論
4. 生涯スポーツ実技
5. 実践英語Ⅲ
6. 英語コミュニケーションⅢ
7. 英語コミュニケーションⅤ

国際観光学科

科目名: 自然と環境			担当教員 氏名: 石川 美澄			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次 後期	総合科目	講義	選択必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 国内・海外ツアー添乗業務の実務経験を活かして、観光資源の現状や課題について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
自然や環境に配慮した観光は、近年ますます重要視されている。本授業では、サステイナブルディベロップメント(持続可能な開発)やサステイナブルツーリズム(持続可能な観光)ならびにエコツーリズムの歴史や仕組みについて理解を深める。その上で、国内外で実践されている様々な事例を通して、サステイナブルツーリズムやエコツーリズムという理念の実現のための具体的な活動内容や運営に関する課題について議論し、それらの発展に寄与する方法・施策を学生自らが見出すことを目指す。					サステイナブルツーリズム/エコツーリズム ム/SDGs/観光環境容量(Tourism Carrying Capacity)/自然資源	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、6、8、10	
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
D 問題解決力			問題を同定し、確実に解決できる。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 30 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中に課すコメントシートをレポートとして実施・評価する。テストは試験日に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントシートに対する講評は授業中に行う。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①イントロダクション:「自然」と「環境」から想起されるものとは?			【復習】ノートの要点整理	【復習】30分		
②サステイナブルツーリズムの歴史: 持続可能な開発から持続可能な観光へ			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
③サステイナブルツーリズムの現在 SDGs/GSTC			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
④エコツーリズム① エコツーリズムの誕生とその拡大			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑤エコツーリズム② エコツーリズムのマネジメント			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑥エコツーリズム③ エコツアーの作り方			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑦世界自然遺産と観光① 世界遺産制度の成り立ち			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑧世界自然遺産と観光② 事例: 海外			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑨世界自然遺産と観光③ 事例: 国内			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑩オーバーツーリズム① 海外の現状と課題			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑪オーバーツーリズム② 国内の現状と課題			【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分		
⑫北陸エリアにおけるサステイナブルツーリズムの検討① 事例収集			【予習】興味のあるエリアを決め、必要事項をまとめる 【復習】授業中に指摘した点について調査を進める	【予習】60分 【復習】60分		
⑬北陸エリアにおけるサステイナブルツーリズムの検討② 事例分析			【予習】事例分析を進め、疑問点を洗い出す 【復習】結果をまとめ、発表資料を作成する	【予習】60分 【復習】60分		
⑭北陸エリアにおけるサステイナブルツーリズムの検討③ 結果発表・意見交換			【予習】発表の練習をする 【復習】発表・質問に対する改善点等をまとめる	【予習】60分 【復習】60分		
⑮総括			【予習】本授業全体の復習をする	【予習】60分		
使用テキスト: 使用しない			その他参考文献など: 敷田麻実編(2008)『地域からのエコツーリズム』学芸出版社/藤橋亜矢子(2018)『サステナブルツーリズム: 地球の持続可能性の視点から』晃洋書			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃から、ツーリズムはもちろん、自然や環境、開発等に関するニュースを積極的に収集することが望ましい。						

国際観光学科

科目名: ユニバーサル論				担当教員 氏名: 鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っている		講師が障害当事者として経験していることをフィードバックする				
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
<p>ツーリズムの視点からユニバーサル論を理解する。高齢者であつと、障害者であつと、誰でも、外出したい、旅に出たい、旅先で温泉に入りたい、また、海外旅行にも行ってみたいという希望は持っているもの。それらを実現するために、現在ではさまざまな工夫が各界でなされている。宿泊施設、航空機、鉄道、クルーズ船、バスなどの運輸業界、また飲食業界等の産業界ではバリアフリー施設や空間が準備されつつある。それらの環境をうまく活用するためには、施設や空間の正確な情報の提供や、更新が必要であり、また、誰もが気兼ねなく旅を楽しむ旅行商品の企画開発も重要である。さらにこのようなハードの部分だけではなく人々の「心のバリアフリー」も極めて重要であり、すべての人々を受け入れることのできるインクルシブ社会についても理解する</p>					<p>ユニバーサルデザイン バリアフリー インクルシブデザイン</p>	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			2. 3. 4. 6. 8. 10.			
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 40 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項: その他とは出席率や学習への取り組み姿勢(提出物等)、態度のことである。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ④前後でレポート評価、⑧まとめて試験を行う						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却等で実施する						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①UD、バリアフリーの問題点、インクルシブデザイン					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
②UDとマナー ～心のバリアフリー～					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
③UDとスポーツ(体験含む)					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
④UDと公共交通					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
⑤UDとファッション					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
⑥UDと娯楽(Live、スポーツ、ディズニー等)					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
⑦UDと旅行～観光資源(宿泊、買い物、体験等)について考える～					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
⑧まとめ					【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分
使用テキスト: 文献、資料、論文などを基に作成した参考資料を毎回の講義で配布する。				その他参考文献など: ユニバーサルデザイン ーバリアフリーからの問いかけー, 学芸出版社, 川内美彦, ISBN:978-4761522582		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

科目名： 富山コミュニティー論			担当教員 氏名： 米田 晶						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っている									
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード				
地域づくりかえ学で学んだことに基づき、地域の課題について、より実践的に学びを深め、本学の教育目標である、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高めるのが目標である。ゼミ形式で専任教員が小グループを担当し、地域の課題解決に向けた活動を体験する。また、体験をまとめ、学内で報告する。									
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)			2・3・5・7・8・10			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験：	%	その他：	%
特記事項：									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容		学習に必要な時間(分)	
①【学科全体】学修の進め方、地域調査の基本について、地域社会に生きる「私」をつくる						【予習】シラバスの確認		30分	
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①						【予習】計画書の作り方を調べる		30分	
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②						【予習】計画書の作り方を調べる		30分	
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③						【予習】計画書の作り方を調べる		30分	
⑤【AD】連携期間との打合せ						【予習】計画書の確認		60分	
⑥【AD】調査計画の修正						【予習】計画書の確認		60分	
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①						【予習】計画書の確認と準備		60分	
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②						【予習】計画書の確認と準備		60分	
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③						【予習】計画書の確認と準備		60分	
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④						【予習】計画書の確認と準備		60分	
⑪【AD】地域課題の解決策の検討						【予習】フィールドワークまとめ		60分	
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)						【予習】発表準備		60分	
⑬【AD】学習成果のまとめ①						【予習】報告書の書き方を調べる		60分	
⑭【AD】学習成果のまとめ②						【予習】報告書の書き方を調べる		60分	
⑮【学科全体】学習成果報告会						【予習】発表準備 【復習】レポート作成		120分	
使用テキスト：						その他参考文献など： 佐藤郁哉：フィールドワークの技法－問を育てる、仮説をきたえる。			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 「地域づくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指す。									

国際観光学科

科目名: 生涯スポーツ実技				担当教員 氏名: 澤 聡美					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	総合科目	講義	選択必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
実技を通して、自身の身体とその健康について、理解を深めることを目標とする。科目のキーワードは「向上心」、「チームワーク」、「コミュニケーション」であり、相互にコミュニケーションをはかりながら、調整を図りながら、問題解決にあたる基本行動を学ぶ。採用するスポーツ種目は、フィットネス、ウォーキング、ビーチボール、フレッシュテニス、レクリエーション活動などである。					富山県発祥のスポーツ、心身の健康				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1、3、5、8、10				
A 知識・理解力			知識を体系的に理解できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			他者と協調・協働して行動できる。						
H コミュニケーション力			言語や体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	60 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表・実技試験等の実施時期: 毎回、授業の終わりに気づき・学びシートを提出し、学びを蓄積し、15回目に振り返りのレポートを作成する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントを書いて返却する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①オリエンテーション					[復習]これまでの運動に対する自分の関わりについて振り返る	60分			
②心と体の健康チェック、フィットネス1					[復習]自分の健康に合った運動の実施	60分			
③フィットネス2 大学周辺をウォーキング					[復習]スマホを活用した運動量の測定	60分			
④富山の観光名所をウォーキングで紹介しよう【講義: 計画書の作成】					[復習]観光名所を紹介するレポートの作成	120分			
⑤富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール1					[予習]ビーチボール誕生について調べる	60分			
⑥富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール2					[復習]ビーチボールに向けての体方向上トレーニングの実施	60分			
⑦富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール3 試合運営の経験					[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分			
⑧富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス1					[予習]フレッシュテニス誕生について調べる	60分			
⑨富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス2					[復習]フレッシュテニスに向けての体方向上トレーニングの実施	60分			
⑩富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス3 試合運営の経験					[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分			
⑪レクリエーション活動の体験					[復習]レクリエーションの意義についてまとめる	60分			
⑫スポーツ・レクリエーション大会: チームによる企画書の作成1					[復習]企画書の作成	120分			
⑬スポーツ・レクリエーション大会: チームによる企画の準備					[予習]用具の準備・作成	60分			
⑭スポーツ・レクリエーション大会の運営					[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分			
⑮スポーツ・レクリエーションで地域に貢献するには【講義】					[復習]振り返りレポートの作成	120分			
使用テキスト: 必要に応じて配布する					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 運動にふさわしい服装で、装飾品は怪我につながるのではありませんこと。朝食を取ってから来ること。									

国際観光学科

科目名: 実践英語Ⅲ				担当教員 氏名: 毛利 有一		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	講義	選択必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: ホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
この授業は実際に通じる英語の習得のため、読む、聞く、話す、書くの4技能の基本を中心に進める。中学校以降の学習の中で、積み残した個所があればそれを補い、さらに正確な英語力を身につけるための授業である。基本的な文法、構文、語彙力の向上に加え、読解能力の向上、聴解能力の向上、会話力の向上、作文力の向上を目指す。実践英語Ⅱをさらにステップアップしたものである。					TOEIC、リスニング、リーディング、映画	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 10	
A 知識・理解力			英語を体系的に理解する。			
B 専門的技術			正確な英語力習得を目指し、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力			複眼的、論理的に英語の4技能を発揮できる。			
H コミュニケーション力			クオリティの高い英語力で他者との理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 70 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 20 %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 試験及びレポート提出の時期は別途指示する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点后口頭で伝えるかコメントを添えて返却する。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
②TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
③TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
④TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑤TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑥TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑦TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑧中間評価と振り返り					【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分
⑨TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑩TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑪TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑫TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑬TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑭TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips					【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分
⑮最終的な振り返り					【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分
使用テキスト: TOEIC L&Rテスト 絶対攻略リーディング ISBN-13 : 978-4907278724					その他参考文献など: Netflix / Amazon Prime / Hulu / U-next / Disney + などの動画配信サイトへの登録が望ましい。	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実践英語2から引き続きTOEIC対策および動画を用いたアクティビティを実施します。TOEIC対策はリーディング(Part 7)をメインに、動画は、実践英語1.2で扱ったものより質量ともにハイレベルなものを取り上げます。これまでに学習した内容をしっかり身につけた上で受講してください。						

国際観光学科

科目名: 英語コミュニケーションⅢ				担当教員 氏名: 齋藤望、Victor Raquid Vibal					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどの教員は、それぞれの観光および教育のキャリアにおける幅広い経験を示し、理論を実際の事例で説明し、 ような授業を行っている 実践的な体験の機会を提供することにより、学生の意欲を引き出しながら、教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
国際化、グローバル化が進み、英語を使う機会は日常生活のみならず、様々な職場で 求められている。日本人以外の上司、同僚、部下が各企業に増えてきていることも事実 である。このような社会的ニーズを踏まえてこの授業ではできるだけ英語を話し、英語で 考え、英語で表現することに慣れ、在学中に実践的レベルに達することを目標としてい る。授業はすべて英語で行われる。また英語によるプレゼンテーション、観光地ガイドイ ングなども学ぶ。						観光英語、コミュニケーションスキル			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短縮マトリックスで示される番号) 1、2、3、4、5						
A 知識・理解力			英語という言葉を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。						
H コミュニケーション力			言語や、身体を用いて他者に理解を深め、コミュニケーションができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	90 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、デベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間課題(ロールプレイプレゼンテーション)を第8週目で実施予定。期末課題(グループプレゼンテーション)を14週目で実施予定。 授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 教員による書面によるフィードバックと個別相談にて対応する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①Unit 1: What's the purpose of your visit? and Unit 2: How much is it?				Relevant vocabulary, and how to describe what we do 【Review】Unit 1 and 2	60 minutes				
②Unit 3: When is the next train to Xi'an? and Unit 4: The TV is broken.				【Preview】Unit 3 and 4 【Review】Unit 3 and 4	60 minutes				
③Unit 5: What is there to see? and Destination: The U.S.A.				【Preview】Unit 5 and The U.S.A. 【Review】Unit 5 and The U.S.A.	60 minutes				
④Unit 6: I'd like to rent a snowboard, please. and Unit 7: Tell me about your country.				【Preview】Unit 6 and 7 【Review】Unit 6 and 7	60 minutes				
⑤Unit 8: How was your weekend? and Unit 9: Does it hurt?				【Preview】Unit 8 and 9 【Review】Unit 8 and 9	60 minutes				
⑥Unit 10: I'd like a cup of coffee, please. and Destination: Canada				【Preview】Unit 10 and Canada 【Review】Unit 10 and Canada	60 minutes				
⑦Unit 11: Would you like to visit the Temple of Heaven? and Group Presentation preparation				【Preview】Unit 11 【Review】Unit 11 and Presentation	60 minutes				
⑧ Role-play Presentation				Mid-term assessment	60 minutes				
⑨Unit 12: I want to send an attachment. and Unit 13: I'd like a chicken sandwich, please.				【Preview】Unit 12 and 13 【Review】Unit 12 and 13	60 minutes				
⑩Unit 14: Go straight along this road. and Unit 15: Have you been to the Great Wall yet?				【Preview】Unit 14 and 15 【Review】Unit 14 and 15	60 minutes				
⑪Destination: China. and Unit 16: Excuse me. Can you help us?				【Preview】China and Unit 16 【Review】China and Unit 16	60 minutes				
⑫Unit 17: I don't think this is right. and Unit 18: Keep in touch!				【Preview】Unit 17 and 18 【Review】Unit 17 and 18	60 minutes				
⑬Unit 19: Did you pack this bag yourself? and Unit 20: Are you going snowboarding again?				【Preview】Unit 19 and 20 【Review】Unit 19 and 20	60 minutes				
⑭Group Presentation				Final assessment	60 minutes				
⑮Destination: Australia. and Revision and refraction of units to date				【Preview】Australia 【Review】Australia	60 minutes				
使用テキスト: Passport 2: Second Edition. Buckingham & Lansford. Oxford University Press. 2012. ISBN: 978-0-19-471822-6				その他参考文献など:					
Optional workbook for extra study, Passport 2 workbook. ISBN: 978- 0194718288									
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									

国際観光学科

科目名: 英語コミュニケーションV				担当教員 氏名: 齋藤 望、Victor Raquid Vibal					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択				
実務経験を用いてどの教員は、それぞれの観光および教育のキャリアにおける幅広い経験を示し、理論を実際の事例で説明し、ような授業を行っている 実践的な体験の機会を提供することにより、学生の意欲を引き出しながら、教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
実践英語や英語コミュニケーションの授業の進化系として、観光通訳、英語ガイドングに特化した技術を学ぶ。日本の文化や歴史、観光資源などについて英語で的確に表現できる訓練を行う。観光ガイドングのプレゼンテーションのほか、音読訓練法の基礎、シャドウイング訓練、観光通訳論等、理論と実践を組み合わせる。英語コミュニケーションIVをステップアップしたものである。					観光英語、コミュニケーションスキル、観光通訳及びガイドスキル				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)						
A 知識・理解力			英語という言葉を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。						
B 専門的技術			通訳、ガイドングなどの技術を活用し、社会貢献、自己実現ができる。						
H コミュニケーション力			言語や身体を用いて他者との理解を深めるコミュニケーションができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	90 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間課題(グループプレゼンテーション)を第8週目で実施予定。期末課題(ロールプレイプレゼンテーション)を14週目で実施予定。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 教員による書面または口頭によるフィードバックと個別相談にて対応する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
① Introduction				Relevant vocabulary, and how to describe what we do 【Review】Unit 1 and 2	60 minutes				
② Unit 1: Arrivals				【Preview】Unit 1 【Review】Unit 1	60 minutes				
③ Unit 2: A place to stay				【Preview】Unit 2 【Review】Unit 2	60 minutes				
④ Unit 3: Tourist information services				【Preview】Unit 3 【Review】Unit 3	60 minutes				
⑤ Unit 4: Holiday rep				【Preview】Unit 4 【Review】Unit 4	60 minutes				
⑥ Unit 5: Eating out				【Preview】Unit 5 【Review】Unit 5	60 minutes				
⑦ Unit 6: Rural tourism				【Preview】Unit 6 【Review】Unit 6 and Presentation	60 minutes				
⑧ Group presentation				Mid-term assessment	60 minutes				
⑨ Unit 7: Attractions and events				【Preview】Unit 7 【Review】Unit 7	60 minutes				
⑩ Unit 8: On tour				【Preview】Unit 8 【Review】Unit 8	60 minutes				
⑪ Unit 9: Hotel entertainment				【Preview】Unit 9 【Review】Unit 9	60 minutes				
⑫ Unit 10: Specialized tourism				【Preview】Unit 10 【Review】Unit 10	60 minutes				
⑬ Unit 11: Business travel				【Preview】Unit 11 【Review】Unit 11	60 minutes				
⑭ Rple-play presentation				Final assessment	60 minutes				
⑮ Unit 12: Checking out				【Preview】Unit 12 【Review】Unit 12	60 minutes				
使用テキスト: Tourism 2 Oxford English for Careers Walker and Harding ISBN: 978-0194551038				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									